

← HACHIJO 2023

はちじょう2023

東京都八丈町勢要覧



目次

黒潮に浮かぶ島 八丈島

八丈島の概要	2
島への交通	3
町のシンボル・交流	4
主なできごと2023	5

わたしたちの「はちじょう」

心と体を癒やす地球の恵み 温泉	6
町の将来像 ともに支えあうあたたかい町	7
まちづくりの基本方向	7
住民が主役の町／島を生かす町	9
歴史と文化を生かす町／クリーンアイランドを目指す町	10
東京宝島サステナブルアイランド創造事業・地域おこし協力隊	11
八丈島の歴史と文化	12
八丈島の自然	14

資料編

地勢・気象・人口	15
産業	16
保健・福祉・医療	19
教育・文化	21
環境衛生	23
運輸・通信・エネルギー	24
建設	25
住宅・治安	26
財政	27
行政	29
議会	30

八丈町歌（八丈町の歌）

作詞 保岡直樹
作曲 高橋一美

碧い宇宙に抱かれて
恵み豊かな海と島
燃える太陽 育むいのち
心やすらぐ わが郷土
希望と笑顔に 満ちあふれ
しあわせ彩る 八丈町よ

緑さわやか フェニックス
花は優美な ストレチア
紡ぐ歴史に 綾なす文化
まねく旅人 湯の香り
大空みあげて アカコッコ
平和を奏でる 八丈町よ

熱い鼓動を はずませて
夢が燦めく 風と波
ごらん元気に 羽ばたく魚
虹を描いて 春を呼ぶ
力を合わせて たくましく
未来へ躍進 八丈町よ



八丈島の概要

八丈島は東京の南方海上286kmに位置し、面積69.11km²のひょうたん型をした島です。地形的には富士火山帯に属する火山島であり、南東部を占める三原山（700.9m）と北西部を占める八丈富士（854.3m）から成り立っています。集落は、島の南東部に位置する三原山を中心とする檜立・中之郷・末吉で構成される坂上地域と、島の経済活動の中心地である大賀郷・三根で構成される坂下地域があります。

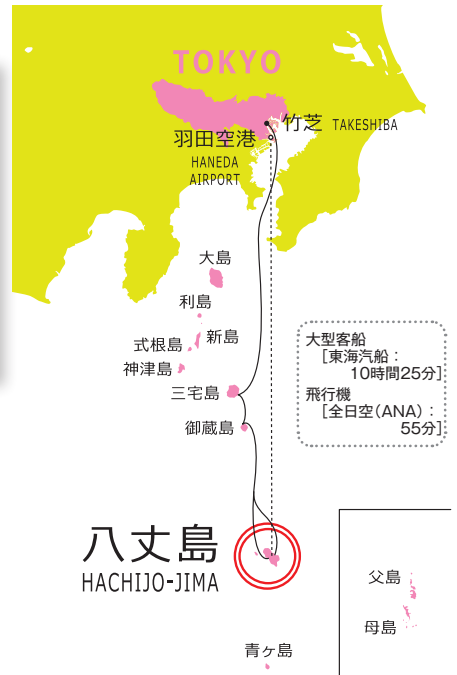
また八丈小島は、八丈島の北西9.5kmの海上にあり、島のほぼ中央にあたる大平山（616.8m）から成る面積3.07km²の火山島ですが、昭和44年6月に全員離島し、現在は無人島です。

気候は黒潮暖流の影響を受け高温多湿で雨が多いことが特徴です。人口は7,042人（令和2年国勢調査）で、産業は農業（花き観葉植物栽培）と沿岸漁業を基盤としています。商工では焼酎造りやくさや加工、伝統的工芸品の本場黄八丈織などのほか、各種の観光関連サービス業が中心となっています。



島への交通

八丈島への空路は、東京・羽田空港より全日空のジェット機が55分で結んでいます。また、東京愛らんどシャトルが八丈島を基地にして青ヶ島、御蔵島、三宅島、利島、大島とアクセスしています（毎日就航）。海路は、東海汽船の大型客船が東京・竹芝桟橋から毎日就航しています。竹芝を夜に出発し、三宅島・御蔵島を経由して10時間25分で八丈島に到着します。



八丈島海路の沿革

1910 (明治43) 年	東京湾汽船会社と八丈島有志代表浮田鉄吉氏、山田喜代吉氏が毎月1回以上の航海契約を結ぶ（芙蓉丸96トン）
1922 (大正11) 年	5月 八丈丸（345トン）三宅島・八丈島就航
1925 (大正14) 年	4月 八丈丸、三根沖で暴風雨のため遭難沈没（船員13名死亡）
1926 (昭和元) 年	4月 三宅島・八丈島、東京府知事の命令航路となる
1930 (昭和5) 年	10月 東京から八丈島寄港、小笠原父島・母島に至る定期航路開始。主として桐丸（531トン）が就航
1941 (昭和16) 年	戦時下、桐丸の月6回の就航が萩丸月3回の就航になる
1945 (昭和20) 年	戦時下、4月16日東光丸撃沈される（約120名死亡）
1947 (昭和22) 年	6月 黒潮丸（496トン）東京-八丈島間就航
1948 (昭和23) 年	3月 第3旭丸、八丈島藍ヶ江港で遭難
1957 (昭和32) 年	東海汽船八丈島代理店を直営に切り替え、八丈島支店を設置
1965 (昭和40) 年	8月 神湊港底土岸壁完成、年間通して約90%の接岸が可能となる
1968 (昭和43) 年	10月 貨物船弥栄丸（330トン）三宅島・八丈島間に就航
1971 (昭和46) 年	6月 ふりいじあ丸（2,286トン）が就航
1978 (昭和53) 年	4月 すとれちあ丸（3,708トン）が就航
1983 (昭和58) 年	3月 ふじしま丸（149トン）八重根港入港
2002 (平成14) 年	5月 さるびあ丸（4,973トン）が就航
2012 (平成24) 年	2月 八重根港船客待合所供用開始
2014 (平成26) 年	6月 橘丸（5,681トン）が就航
2014 (平成26) 年	7月 神湊港（底土）船客待合所供用開始
2020 (令和2) 年	6月 さるびあ丸（3代目・6,099トン）が就航

八丈島空路の沿革

1953 (昭和28) 年	青木航空就航（不定期）
1954 (昭和29) 年	5月 飛行場開設、青木航空セスナ機就航
1955 (昭和30) 年	4月 日本ヘリコプター輸送（株）の双発機（11人乗）週2回就航
1956 (昭和31) 年	青木航空が日本遊覧航空と社名変更 日本ヘリコプター輸送（株）の双発機（11人乗）週4回就航
1957 (昭和32) 年	12月 日本ヘリコプター輸送（株）が全日本空輸（株）と社名変更
1958 (昭和33) 年	12月 八丈島空港（第3種空港）設置許可
1959 (昭和34) 年	日本遊覧航空のヘロン機（15人乗）が就航するようになり、初めて客室乗務員が乗るようになる
1960 (昭和35) 年	6月 全日空DC-3型機（30人乗）週2回就航 日本遊覧航空のヘロン機が名古屋へ就航 日本遊覧航空が藤田航空と社名変更
1961 (昭和36) 年	5月 八丈島空港供用開始
1962 (昭和37) 年	8月 藤田航空ヘロン機、八丈富士に激突（19名死亡）
1963 (昭和38) 年	11月 藤田航空、全日空と合併し、八丈空路は全日空の運行となり、フレンドシップ機（40人乗）就航
1969 (昭和44) 年	4月 YS-11型機（64人乗）就航
1972 (昭和47) 年	6月 滑走路延長1,200mから1,500mへ供用開始
1973 (昭和48) 年	3月 名古屋定期路線開始
1975 (昭和50) 年	12月 第2次拡張計画決定
1982 (昭和57) 年	4月 滑走路1,800m×45m供用開始 B737型機（126人乗）就航、ターミナルビル供用開始
1985 (昭和60) 年	5月 エアーニッポンにYS-11型機路線移管 11月30日をもって名古屋定期路線休航
1988 (昭和63) 年	4月 エアーニッポンにB737型機路線移管
1989 (平成元) 年	8月 ヘリコプター第1回試験運行（8/12～8/19） 7月 八丈島-東京間のジェット化促進
1993 (平成5) 年	7月 ヘリコプター運航管理事務所及び格納庫完成 8月 ヘリコプター運航開始
2000 (平成12) 年	7月 B737-400型機（170人乗）就航
2004 (平成16) 年	10月 滑走路2,000m供用開始
2005 (平成17) 年	10月 エアバス320型機（166人乗）就航 10月 大島經由便運行 10月 大島經由便廃止
2009 (平成21) 年	10月 エアーニッポン、全日空と合併し、八丈航路は全日空の運行となる
2012 (平成24) 年	4月 B737-800型機（166・167人乗）就航
2017 (平成29) 年	9月 特定有人国境離島地域社会維持交付金を利用した空路運賃低廉化が開始
2022 (令和4) 年	12月 AW139型機（9人乗）が就航



町のシンボル

町の紋章

この紋章は「躍進八丈」の意義を表現しています。八丈の文字をそのまま鳥形に意匠することにより、八丈が希求する永遠の平和と未来永劫やむことなき進展とを象徴したものです。1957（昭和32）年10月制定。

島内外に積極的にPRし、町の産業振興緑化推進及び自然保護等に努めるため、一般公募による以下①～④のシンボルが1974（昭和49）年11月24日に決定、同26日に行われた町制施行20周年記念式典において発表されました。

①町の鳥／アカコッコ

ツグミの一種で伊豆諸島とトカラ列島だけに生息します。翼長平均12センチほどの小鳥で、広葉樹林などに巣を作り昆虫や木の実などを好んで食べます。

②町の花／ストレチア

南アフリカ喜望峰が原産地で学名はストレチア・レギネ。ばしょう科に属し、花は葉のつけねから極めて優美華麗な長い花茎を出し、その形から“極楽鳥花”とも呼ばれます。

③町の木／フェニックス・ロベレニー

和名は“シンノウヤシ”で、原産はインドシナ。八丈島では大正10年に雌雄2本の移入からはじまり、太平洋戦争で一時中断するも、戦後、花き園芸が復興するなかで、文字通り「不死鳥」のようによみがえり、世界でも有数の栽培地となりました。

④町の魚／ハマトビウオ

八丈島では「ハルトビ」と呼ばれ、ハルトビ漁は明治時代から盛んに行われ、羽根のあるおめでたい魚とされてきました。ハルトビは鮮魚のほか、塩干し、くさや、燻製などに加工され、土産品として珍重されています。春先になると、産卵のため伊豆諸島南方から島伝いに北上することから、別名「春告魚」ともいわれています。



交流



①姉妹都市／ ハワイ州・マウイ郡

かつて日本のハワイと呼ばれた八丈町は、気候風土や基幹産業など、共通点の多い島同士として1964（昭和39）年8月10日にマウイ島においてマウイ郡と姉妹都市提携の調印式を行いました。

②姉妹島／沖縄県南大東島

1900（明治33）年に八丈島民が開拓を開始した南大東島とは1982（昭和57）年1月23日に姉妹島提携を結びました。

1月23日は八丈島からの開拓者が上陸の一步を印した記念日で、南大東島には八丈島にゆかりのあるものが多く残っています。

③友好都市／ 東京都小笠原村

小笠原諸島返還記念日の1988（昭和63）年6月26日に八丈町と小笠原村とが友好都市提携を結びました。

毎年6月には八丈町からの小笠原親善訪問が行われています。

主なできごと2023

HEAD LINE 2023

- 1/ 5 二十歳のつどい
- 1/ 8 八丈島パブリックロードレース
- 2/ 4~5 八丈島産業祭
- 3/18~4/5 第57回八丈島フリーズアまつり
- 5/13~14 島じまん 2023 5年ぶり開催
- 6/22~27 第39回小笠原親善訪問 4年ぶり開催
- 7/22~23 第51回八丈島夏まつり 第68代ミス八丈島発表会
- 8/16 第22回八丈島納涼花火大会
- 9/17 八丈町長選挙
- 10/15 第34回八丈島文化フェスティバル（舞台部門）
- 10/29 令和5年度 八丈町表彰式
- 11/18~19 第14回 24時間チャレンジ八丈太鼓



心と体を癒やす地球の恵み 温泉



榎立向里温泉スタンド
榎立向里温泉・ふれあいの湯・ふれあいの湯だらん

A 榎立向里温泉スタンド
榎立向里温泉(ふれあいの湯・ふれあいの湯だらん)

中之郷温泉
中之郷温泉・やすらぎの湯

B 中之郷温泉 (やすらぎの湯)
E 中之郷尾越温泉スタンド

C 裏見ヶ滝温泉
D 足湯きらめき

※男女混浴のため水着着用
※せっけん・シャンプー使用不可
E 中之郷尾越温泉スタンド

末吉温泉
末吉温泉・みはらしの湯

F 末吉温泉 (みはらしの湯)
G 洞輪沢温泉

※せっけん・シャンプー使用不可

詳しくは八丈町HPをご覧ください。

町の将来像

ともに支えあうあたたかい町

基本構想に掲げた八丈町の将来像は「ともに支えあうあたたかい町」です。世代、性別、思想などの多様性を尊重し、町民、地域、企業や団体、行政が協働することで、相互の知恵を結集し、新たなまちの魅力や価値を共に創りあげる「共創」の未来を目指します。

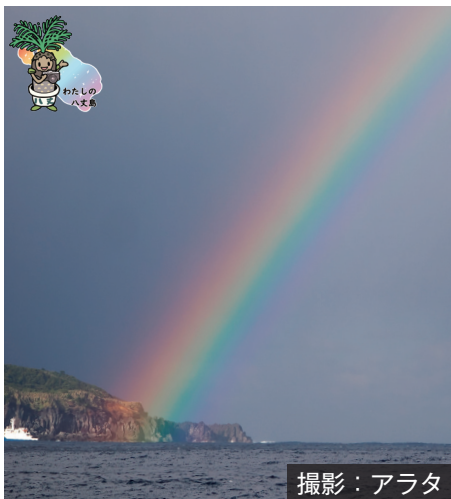
まちづくりの基本方向

住民が
主役の町

歴史と文化を
生かす町

島を生かす町

クリーンアイランド
を目指す町



住民が主役の町

私たち町民は、文化、福祉、環境などの様々な活動に対して、活発に参加してきました。住民の主体的な活動は、これからのまちづくりにおいてもその中心に位置づけられるものです。

～ロベ 導入100周年 記念～



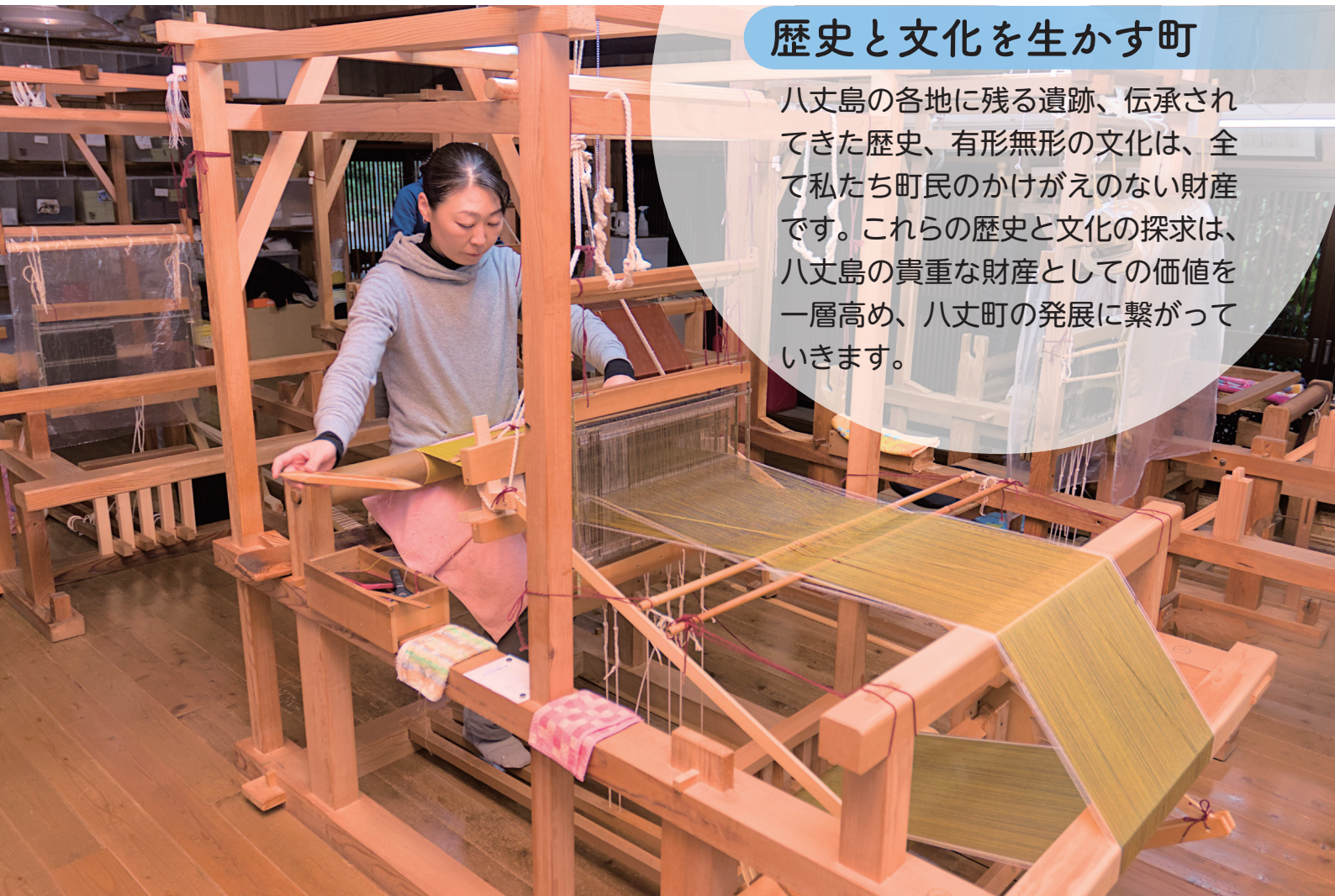
島を生かす町

八丈島の先人たちは、古くからこの広大な太平洋の領域に雄飛し、山や森や海の恵みを、暮らしの豊かさに変えてきました。島の魅力を生かすことは、八丈島の未来を照らすことに繋がります。



歴史と文化を生かす町

八丈島の各地に残る遺跡、伝承されてきた歴史、有形無形の文化は、全て私たち町民のかけがえのない財産です。これらの歴史と文化の探求は、八丈島の貴重な財産としての価値を一層高め、八丈町の発展に繋がっていきます。



クリーンアイランドを目指す町

八丈島の美しい自然環境や景観は、町民や八丈島を訪れた人の心と体を癒すだけでなく、自然エネルギーとして無限の恩恵をもたらす可能性を秘めています。また、自然環境の保護と活用や、環境負荷の低減は、町民の暮らしの豊かさを育むものです。

東京宝島サステナブルアイランド創造事業



実施事業

- ・温泉で顔パス事業
- ・高齢者向けスマートディスプレイ事業
- ・観光アプリ開発事業 など

地域おこし協力隊

隊員：新井 誠人
末吉多目的交流施設担当
2020年12月より活動中

隊員：桐山 秀幸
広報企画および運営担当
2023年4月より活動中

隊員：高田 直子
エコツーリズム推進担当
2023年5月より活動中

隊員：鈴木 綾
再生可能エネルギー担当
2022年4月より活動中



地域おこし協力隊

八丈島の歴史と文化

八丈島は、伊豆諸島の最南部にあり、その周辺を黒潮本流が流れる「黒潮文化圏」と呼ばれる位置にある。黒潮は世界最速の海流の1つとされ、唯一大蛇行する性質をもつため、八丈島への漂着船が多かった原因にもなっている。また、青ヶ島以南への移動は困難であったため、古代から文物が堆積する場所でもあった。



先史・古代時代

八丈島には約7000年前から、丸太をくりぬいて作った船で島伝いに渡ってきた人が住んでいたとも言われているが、彼らは、現在の島民の祖先にあたるわけではなく、いずれまた他の島に渡っていったか、そのまま死に絶えたものと考えられている。人の定着生活は、弥生時代頃から始まったと考えられている。

■ 始祖伝説

八丈島には「丹娜婆」^{たなば}「八十八重姫」^{やそやえひめ}「徐福」^{じょふく}という系統を異にする3つの始祖伝説が残っている。

「丹娜婆」は、丹娜という女性とその子を始祖とする、日本で他に例のない母子交際の伝説であり、南方系文化にその脈絡が認められる。「八十八重姫」は、日本神話に登場する神、事代主命^{ことしろぬしのみこと}の妃である八十八重姫とその子を始祖とする内地系文化の伝説である。秦の方士「徐福」の伝説は、西方から流入した大陸系文化に属するもので、徐福に従って秦から来た男女500人ずつが八丈島・青ヶ島の始祖とされる。

■ かつぺた織

アイヌのアットゥシ織と同様に国内では珍しい古代織（機台を使わない織り方）と言われる独特のものである（後世の手が入っている）。1962（昭和37）年に「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」として国指定を受けた。

■ 高倉（高床倉庫）

高倉が存在するのは、八丈島・琉球・奄美が有名であるが、八丈島は弥生時代の登呂遺跡と同じ形式（柱が床を貫いて屋根に達するもの）であり、琉球・奄美に残るものとは、まったく別の構造である。

■ 八丈方言（通称：島言葉）

八丈島という非常に狭い地域でのみ使われている言葉であるにもかかわらず、他のどの地域とも連続性がない非常に独特な言語で、日本で一番古い日本語（奈良時代よりも前）の要素が残るとされている。ユネスコが発表した消滅危機言語の内の1つ。



中・近世

江戸時代は流刑の島（約1,900人流罪）として、1606（慶長11）年の宇喜多秀家（豊臣家五大老の1人）をはじめとして、多くの流人が流された。彼らが多くの貢献をしたことは事実であり、また、絶海の孤島というイメージも伴い、八丈島は流人文化であることが強調されることが多いが、前述のとおり古代から続く文化があることから流人の残した文化が八丈島の文化の土台になったとは言い難いだろう。

幕末には、幕府の政策の下、小笠原への開拓を目的とした移住があり（一時中断）、その後の南方進出の先駆けとなった。

■ 黄八丈

歴史的に長く珍重され、室町時代には貢納品、また、戦国時代には争いの元となった絹織物。現在でも伝統産業として生き続け、江戸時代と同様に地場の自然物を用いた染色（黄、樺、黒の3色で、縞や格子地に織る）、手織りで製作されており、国の伝統的工芸品に指定されている。明治時代以後は、生糸を移出した時代や種繭の特産地であった時代もあるが、現在では養蚕は行われていない。

■ 八丈太鼓と民謡、踊り

八丈太鼓は、1つの太鼓の片面を一定のリズムで刻む下拍子（下打ち）、もう片面を自由なフレーズを考えて打つ上拍子（上打ち）に分かれ、両面

から打つという日本全体で見ても非常に珍しい特徴をもち、現在でも島内の行事では欠かせない文化の一つである。そのほか、本土との関連性が感じられるショメ節や春山節などの民謡、檜立踊りなどは、東京都の無形民俗文化財に指定されている。

■『八丈実記』と流人近藤富蔵

幕末から明治初期の八丈島や伊豆・小笠原の歴史・風俗・習慣を知る上で貴重な資料である『八丈実記』は、1827（文政10）年に流罪となった近藤富蔵によって著されたものである。なお、近藤富蔵は、大島へ流された後に八丈島に渡ってきたという源為朝をモチーフにした為朝風の図案を考案したとされている。



近代以降

明治維新後、それまで伊豆国付（伊豆国に付属する）とされていた伊豆七島（現在の伊豆諸島）は、廃藩置県により韮山県、県名変更に伴い足柄県、そして静岡県となり、1878（明治11）年に東京府（現在の東京都）へ移管された。

幕末に始まった小笠原開拓を端緒として、明治時代以後は小笠原や鳥島、南大東島、そして、サイパン、テニアンなどに多くの島民が移住、開拓に従事したが、彼らは太平洋戦争において、玉砕するか収容所に入れられた後に日本へ送還される結果となった。

1954（昭和29）年に三根村・檜立村・中之郷村・末吉村・鳥打村が合併して八丈村に、その翌年1955（昭和30）年には八丈村・大賀郷村・宇津木村が合併し、八丈町が誕生した。

1969（昭和44）年、かつては500人以上の住民がいたとも言われる八丈小島は、最終的に100人を切る人口となるほど過疎化が進み、その生活環境の厳しさ等を理由として、全国初の事例となる全員離島がなされた。

なお、実際の有人島は9島であるにもかかわらず、現在でも旅行パンフレット等で伊豆七島という呼称が見受けられるが、これは、明治時代中期まで無人島であった式根島、遠隔の地として八丈島と一括りにされていた青ヶ島・八丈小島が、その数に含まれていなかったことに起因するものである。

■養牛

養牛は中世から行われていたと考えられている。江戸時代には牛の数は戸数よりも多く、昭和50年代までは牛の角突き（牛角力）も行われていた。明治以降は、乳量世界一の牛を生産するなど、

■焼酎（通称：島酒）と流人丹宗庄右衛門

十分な量のサツマイモが収穫できるようになる1835（天保6）年頃まで、八丈島は毎年のように飢饉に悩まされ、貴重な食糧であった米からの酒造りは禁じられていた。現在でも島民に愛されるサツマイモを原料とした焼酎は、1853（嘉永6）年に流罪となった丹宗庄右衛門によってその製法が伝えられたものである。

■八丈八景

観光地として紹介されることの多い大坂夕照をはじめとする八丈八景は、1866（慶応2）年に流罪となった鹿島則文によって選定され、その当時の八丈島の文人達によって、短歌や俳句、漢詩などが作られている。

八丈島は酪農王国として有名であったが、現在では、乳用牛から肉用牛へ移行しつつある。

■くさや

魚を開き、洗った後にくさや液、真水に漬け、乾燥させる、という製法の干物。八丈島のは明治時代初期に新島から伝えられたと言われており、他の島に比べてくさや液の塩分が高く、また、真水に漬ける時間が長いことから、匂いが少なく食べやすいことが特徴である。

■フェニックス・ロベレニー（通称：ロベ）とアシタバ

八丈島の農業の中心は観葉植物栽培であり、中でもその基幹となっている全国シェア95%以上のフェニックス・ロベレニーは、大正時代からその栽培が始まった。アシタバは、八丈島が産地として有名であることから八丈草とも呼ばれ、元々島民に身近な野菜である。昭和50年代頃からは健康食品として島外に販売され始めた。

■戦争遺跡

伊豆諸島の最南部ということで、第二次世界大戦中は本土防衛体制の一環として防衛強化がなされ、いまでも多くの戦跡が残っている。現在供用されている八丈島空港は、元々は、1927（昭和2）年に海軍飛行場として建設され、1944（昭和19）年に増設された場所にあり、特攻機が飛び立ったこともある。そのほかにも特攻兵器回天及び震洋の壕跡、最初にB29を捉えたレーダー基地跡、八丈と名のつく満蒙開拓団の石碑、多くの大型の陣地壕などがある。

八丈島の自然

八丈島は、海底火山の噴火によって、約10数万年前から生成されたと言われているため、地質年代的には古いものではない。また、孤島であるため、移入物が少なく、特徴的な動植物が多い。



地質学的な特徴…2つの海底火山がつながってできた“ひょうたん型”の島

八丈島は、単性火山である他の伊豆諸島の島と異なり、2つの性質の違った火山(八丈三原山と八丈富士)がくっついてできたひょうたん型の島である。

三原山は、10数万年前に噴火を始めた頃は富士型をしていたが、その後、約3万年前に巨大な陥没カルデラを形成、そしてそのカルデラを埋める噴火が繰り返し起きた(最終の活動は3,000年ほど前)ため、現在の複雑な山容を呈するようになったと言われている。その不整合面その他には、通年流れる川が複数存在しており、山自体の年代が古いことから火山灰が風化した土成分が多く水もちがよい上に、川の流れによる浸食が進んだことで谷が深い。そのため、伊豆・小笠原諸島で唯一水田が現在まで存在しており、昭和30年代に花き園芸に転作するまでは、十分ではないが稲作も行われていた。また、蓄熱層が存在し、温泉が湧いていることも特徴である。基底層は安山岩だが、岩質は玄武岩から流紋岩くらいまでの多様なものが存在している。

八丈富士は、約1万年前から噴火が始まり、最終の噴火は1605(慶長10)年頃、最終の活動は2002(平成14)年とされている。流動性の高い玄武岩の溶岩と砂利の地質であることから、水の透過率が高いために川はない。また、山頂部は風の当たらないカルデラ内を除き、草地になっており、樹木の繁茂は見られない。

両方の山とも水蒸気爆発の痕跡が、海岸線を中心に存在しているが、火砕流の堆積物が残るのは三原山だけである。



気候…寒暖差が少なく、風が強く、雨が多い

気候区分上は温暖湿潤気候に属するが、黒潮に囲まれているため、海洋性気候に似た特徴を呈する。寒暖差は少なく、積雪や降霜、紅葉が基本的にない。また、周囲に遮るものがないので、1年中風が強く、雨が多い上に、天候が変わりやすい。台風、低気圧による強風、大雨による土砂災害等の風水害は近年増加傾向にあり、また、それら風害を一因とする塩害も古くから島民を悩ませているものである。



生物…“ハチジョウ”と名のつく植物や昆虫が多い

周囲を海に囲まれているため、八丈島における哺乳類は元々コウモリしかおらず、そのほかの動植物はWave(波)・Wind(風)・Wing(鳥の翼)という3Wの要素によって偶発的に渡ってきたものが多い。そうした動植物の中には、そのまま定着し進化を重ねたことで、ハチジョウ〇〇といった名のつく植物や昆虫なども多く存在する。植生の極相は、シイ・タブ林だと言われている。

2013(平成25)年からは八丈小島におけるクロアシアホウドリの繁殖行動、2015(平成27)年からはザトウクジラの回遊も見られるようになっている。

■地勢

		八丈島	八丈小島	その他岩礁等	八丈町
位置	北緯	33° 06' 46"	33° 7' 32"		
	東経	139° 47' 21"	139° 41' 18"		
面積		69.11km ²	3.07km ²	0.06km ²	72.24km ²

※面積：令和5年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）を基に八丈町が作成

※位置：市区町村の役所・役場及び東西南北端点の経度緯度（国土地理院）、地理院地図（国土地理院）を基に八丈町が作成

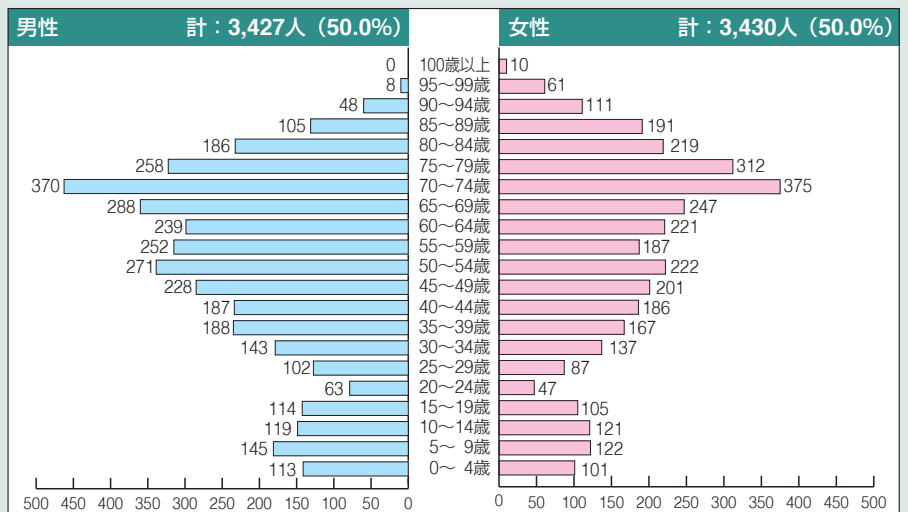
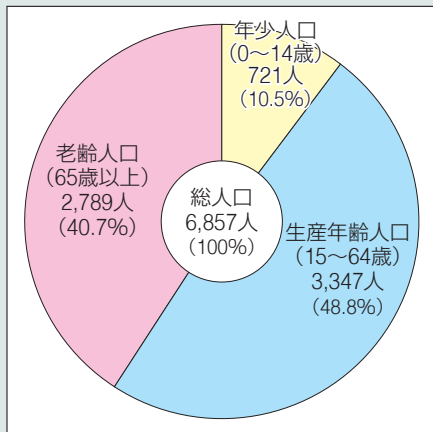
■気象概況（1991年1月1日～2020年12月31日の30年間平均）

主要気象		八丈町	参 考	
			東京	値の近い他都市
気温	年平均（℃）	18.0	15.8	
	最寒月平均（℃）	1月 10.1	1月 5.4	
	最暖月平均（℃）	8月 26.5	8月 26.9	
	日最高気温の最暖月平均（℃）	8月 29.6	8月 31.3	
	日最低気温の最寒月平均（℃）	2月 7.4	1月 1.2	
年降水量（mm）		3,306.6	1,598.2	
年日照時間（時間）		1,445.0	1,926.7	
年平均湿度（%）		79	65	
年強風日数	（10m/s以上）	112.4	16.3	
	（15m/s以上）	16.3	0.4	

※過去の気象データ（気象庁）を基に八丈町が作成

※年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む

■年齢別人口構成（2023年4月1日）

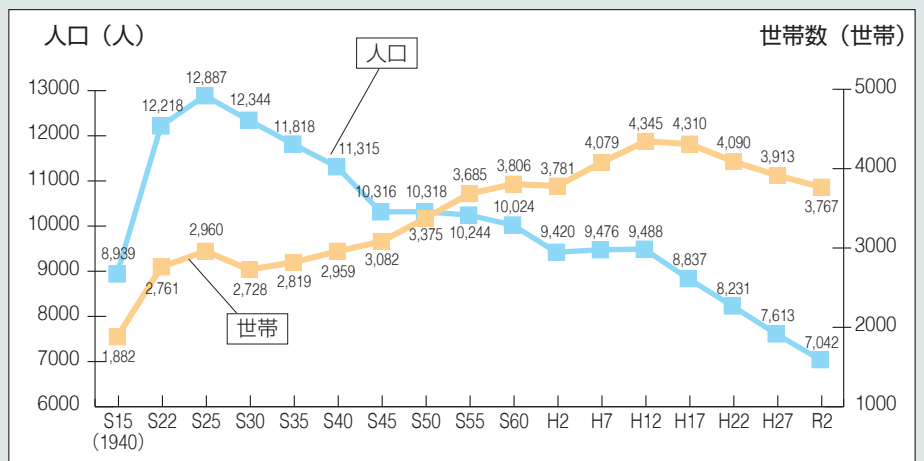


■地域別世帯数と人口

(2023年4月1日)

地域	世帯数	人口
三 根	1,988世帯	3,329人
大賀郷	1,364世帯	2,236人
檜 立	257世帯	442人
中之郷	356世帯	620人
未 吉	159世帯	230人
計	4,124世帯	6,857人
八丈島における 外国人人口		108人

■人口・世帯数の推移



※国勢調査を基に八丈町が作成

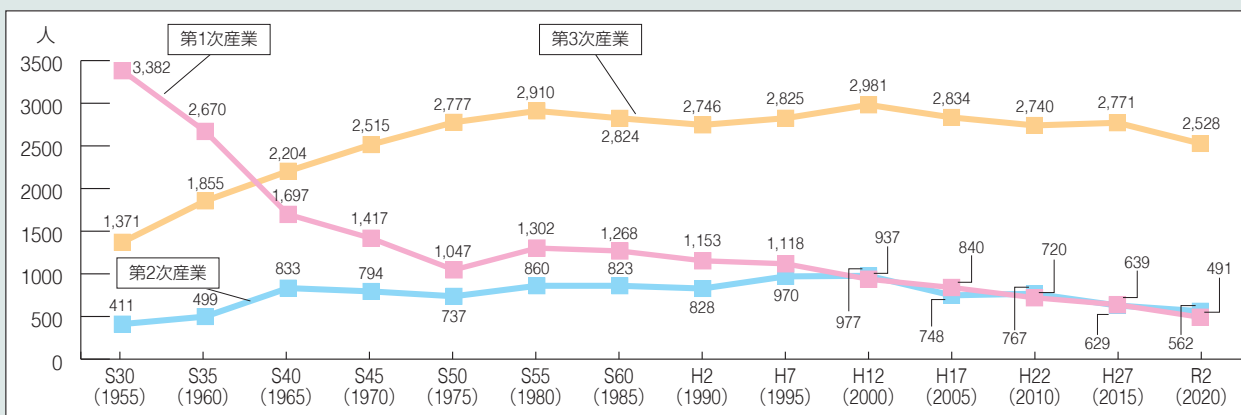
産業別就業者数

※令和2年国勢調査を基に八丈町が作成

就業者数：3,700人 15歳以上人口：6,242人 労働力人口：3,777人

第1次産業 491人 (13.3%)		第2次産業 562人 (15.2%)		第3次産業 2,528人 (68.3%)							
農業 404人 (10.9%)		建設業 435人 (11.8%)		卸売業 小売業 393人 (10.6%)		宿泊業、 飲食サービス業 364人 (9.8%)		教育、 学習支援業 220人 (5.9%)	医療・福祉 455人 (12.3%)	サービス業 (他に分類されないもの) 241人 (6.5%)	公務 (他に分類されるものを除く) 311人 (8.4%)
漁業 84人 (2.3%)		林業 3人 (0.1%)		製造業 127人 (3.4%)		運輸業、郵便業 149人 (4.0%)		生活関連サービス業、娯楽業 115人 (3.1%)		複合サービス事業 101人 (2.7%)	
電気・ガス・熱供給・水道業 21人 (0.6%)		情報通信業 23人 (0.6%)		学術研究、専門・技術サービス業 57人 (1.5%)		不動産業、物品賃貸業 53人 (1.4%)		金融業、保険業 25人 (0.7%)		分類不能の産業 119人 (2.9%)	

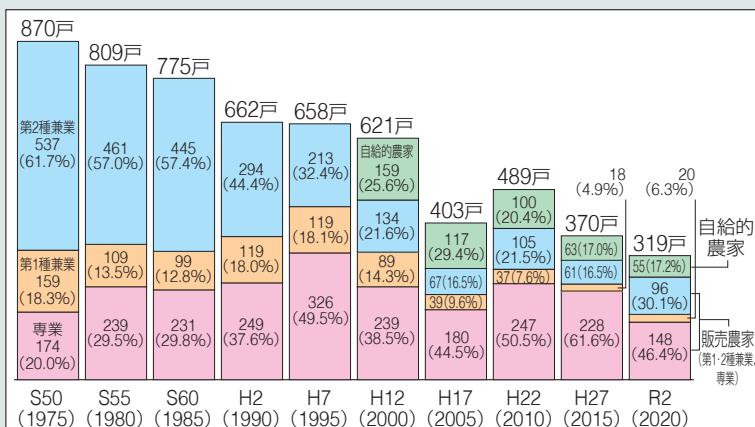
産業別就業者の推移



※国勢調査を基に八丈町が作成

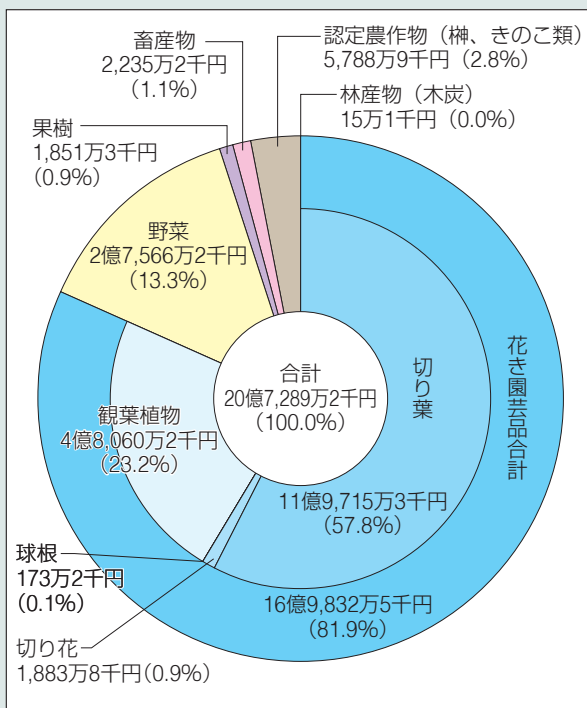
農業 AGRICULTURE

農家数の推移



※農林業センサスを基に八丈町が作成

農林業生産額 (2022年1月~12月)

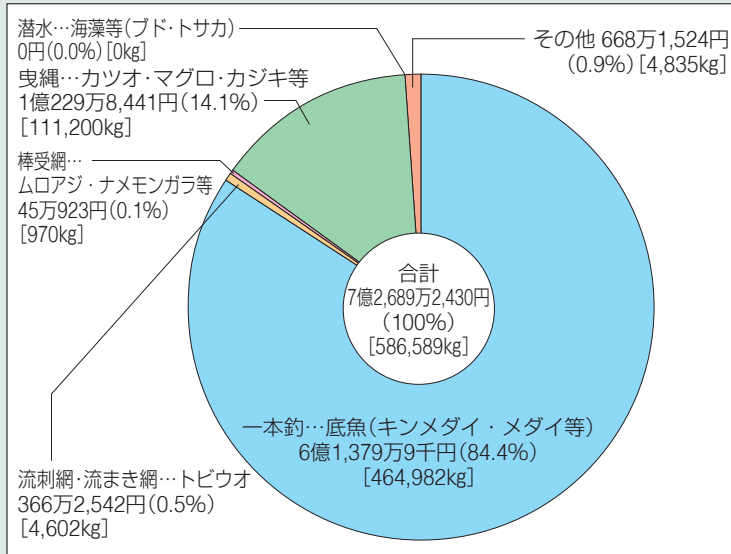


経営耕地・作物別作付面積 (2022年1月1日)

作物		面積		割合
作物	面積	割合	割合	
花き園芸	フェニックス・ロベニー	212ha	52.1%	68.1%
	球根類	1ha	0.2%	
	鉢物	17ha	4.2%	
	その他の花き	47ha	11.5%	
野菜	あしたば	56ha	13.8%	25.1%
	その他の野菜	46ha	11.3%	
果樹	6ha	1.5%	1.5%	
認定農作物 (榊・きのこ類)	22ha	5.4%	5.4%	
計	407ha	100.0%	100.0%	

漁業 FISHERY

■漁業生産額 (2022年 1月～12月)



※潜水・貝類 (トコブシ等) は水揚げなし

■魚種別漁獲量順位 (2022年 1月～12月)

順位	種名	漁獲量
1	キンメダイ	411,050kg
2	マグロ類	81,614kg
3	メダイ	30,302kg
4	カツオ類	14,637kg
5	アオダイ	4,944kg
6	トビウオ	4,602kg
7	赤ハタ	4,585kg
8	赤サバ	4,148kg
9	オナガダイ	2,178kg
10	ムロアジ	970kg

■漁港の状況 (2023年 4月 1日)

漁港名	種別	指定日	管理者	対象船舶	漁港施設		
					長さ		面積
					防波堤	岸壁	
神湊漁港	第4種	昭和26年7月10日	東京都	20ト	901m	1,028m	5,380㎡
八重根漁港	第4種	昭和26年7月10日	東京都	20ト	886m	752m	4,455㎡
中之郷漁港	第1種	昭和27年6月23日	東京都	20ト	251m	105m	3,748㎡
洞輪沢漁港	第1種	昭和27年6月23日	東京都	20ト	523m	229m	3,315㎡

※東京都八丈支庁調べ
※いずれの防波堤にも照明施設一式あり

■漁船数 (2022年12月31日)

トン数規模	漁船数
3ト未満	36隻
3ト～10ト未満	59隻
10ト～20ト未満	14隻
20ト以上	0隻
計	109隻

※東京都八丈支庁調べ
※官公庁船を除く

商業 COMMERCE & MANUFACTURING INDUSTRY

■加工業製品生産調べ

品目	生産額
くさや類 (2022年1月～12月)	3,950万2,316円
農畜産物 (2022年1月～12月)	1億4,774万1千円
黄八丈 (2022年4月～2023年3月)	9,576万9,600円
焼酎 (2022年度)	約 2億円

※くさや類：八丈島水産加工業協同組合調べ
※農畜産物：八丈島乳業(株)及び八丈町調べ
※黄八丈：東京八丈島黄八丈織物協同組合調べ
※焼酎：八丈島内各酒造調べ

観光 SIGHTSEEING

■主な行事 (2022年1月～12月)

パブリックロードレース.....1月(オンライン開催)
 産業祭.....中止
 フリージアまつり.....3～4月
 夏まつり.....中止
 浜遊び.....中止
 納涼花火大会.....8月
 RAINBOW CUP2022(フットサル大会).....9月
 24時間チャレンジ八丈太鼓.....11月
 ユニバーサルキャンプ.....中止
 タコスカップ(サーフィン大会).....10月

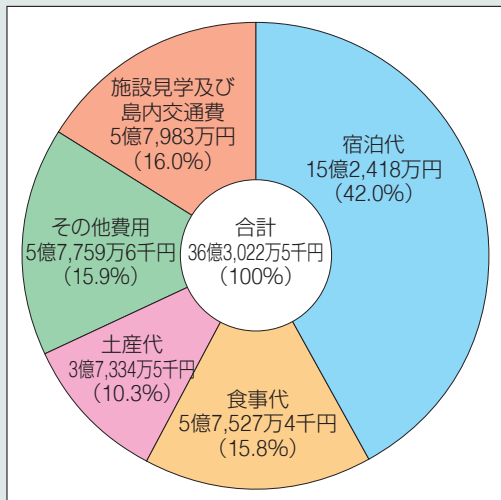
■宿泊施設 (2023年1月)

(休業中は含まず)

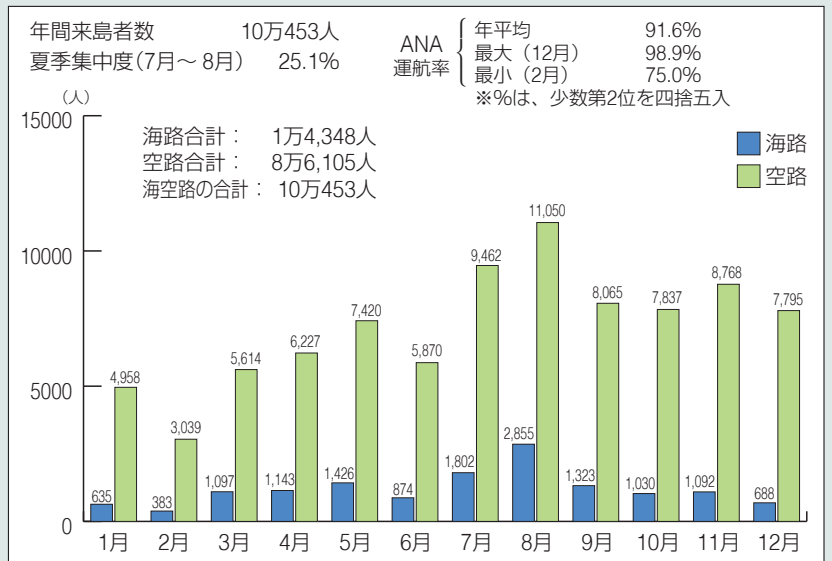
地域名	ホテル・旅館		民宿・ペンション		総数		キャンプ場	
	軒数	登録定員	軒数	登録定員	軒数	登録定員	施設数	張数
三根	2軒	280人	32軒	828人	34軒	1,108人	1ヶ所	80張
大賀郷	1軒	153人	28軒	504人	29軒	657人	1ヶ所	20人
檜立	0軒	0人	0軒	0人	0軒	0人	0ヶ所	0張
中之郷	0軒	0人	3軒	98人	3軒	98人	0ヶ所	0張
末吉	0軒	0人	1軒	25人	1軒	25人	0ヶ所	0張
計	3軒	433人	64軒	1,455人	67軒	1,888人	2ヶ所	80張

ホテル 1泊2食付	約 13,500円～	旅館 1泊2食付	約 8,600円～
ペンション 1泊2食付	約 8,600円～	民宿 1泊2食付	約 8,600円～

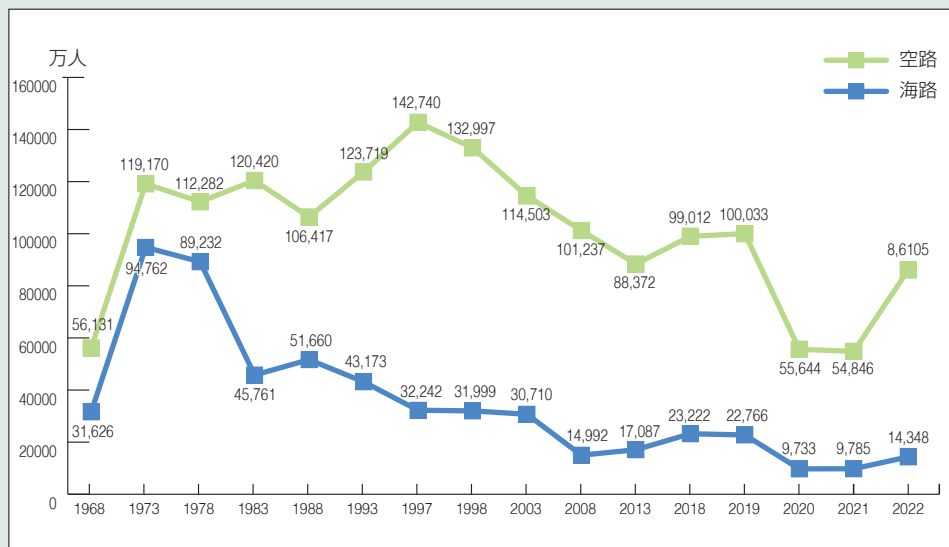
■観光客消費額推計 (2022年1月～12月)



■航路別来島者数の月別推移 (2022年1月～12月)



■航路別来島者数の年別推移



期間	来島者数 (人)		
	空路便	船便	総数
2010	93,989	15,519	109,508
2011	89,729	16,282	106,011
2012	95,379	17,077	112,456
2013	88,372	17,087	105,459
2014	97,214	16,634	113,848
2015	86,301	18,832	105,133
2016	89,990	20,652	110,642
2017	95,889	24,913	120,802
2018	99,012	23,222	122,234
2019	100,033	22,766	122,799
2020	55,644	9,733	65,377
2021	54,846	9,785	64,631
2022	86,105	14,348	100,453

保健 HEALTH

医療機関などの施設状況 (2023年4月1日)

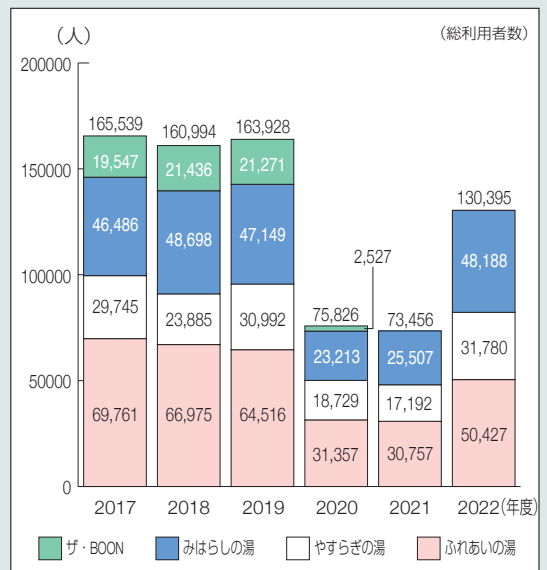
施設区分	施設数
町立病院	1ヶ所
保健所	1ヶ所
診療所	2ヶ所
歯科診療所	7ヶ所
施術所 ・あんまマッサージ ・指圧師 ・はり師 ・柔道整復師	6ヶ所
薬局	3ヶ所
薬種商	0ヶ所
医薬品特例販売店	5ヶ所
歯科技工所	1ヶ所

※東京都島しょ保健所八丈島出張所調べ

集団検診数 (2022年度)

検診の種類	人数
胃がん検診 (バリウム胃部X線)	325人
肺がん検診 (胸部X線)	852人
肺がん検診 (喀痰)	49人
大腸がん検診 (検便)	529人
乳がん検診 (マンモグラフィ・視触診)	244人
子宮頸がん検診 (内診・細胞診)	244人
特定健康診査 (国保) 健康診査 (後期)	822人
骨粗鬆症検診	424人
計	3,065人

温泉利用者数



福祉 WELFARE

高齢人口

(八丈島:2023年9月1日 / 市町村部・東京・全国:2023年9月15日)

	八丈島	市町村部 (多摩・島しょ)	東京	全国
高齢人口 (65歳以上)	2,763人	1,091万人	3,114万人	3,623万人
比率	39.5%	26.0%	23.5%	29.1%

※東京・市町村部:2023年「敬老の日にちなんだ東京都の高齢者人口(推計)」(東京都)を基に八丈町が作成
 ※全国:「統計からみた我が国の高齢者」(総務省)を基に八丈町が作成
 ※%は、少数第2位を四捨五入

高齢者祝金の状況 (2022年度)

種別	人数	金額
90歳祝金	22人	76万円
100歳祝金	2人	20万円

社会福祉協議会の状況 (2023年4月1日)

会員数	230件
事業予算	1億1,052万6千円
法人運営事業	2,432万9千円
地域福祉事業	1,854万8千円
受託事業	2,061万1千円
居宅介護事業	4,602万7千円
応急小口資金特別会計	100万1千円
歳末たすけあい特別会計	1万円

※八丈町社会福祉協議会調べ

介護保険要介護認定者数 (2023年4月1日)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
人数	107人	85人	88人	74人	70人	87人	88人	599人

児童手当支給状況 (2022年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数	6,489人	1,559人
支給金額	7,216万5千円	2,127万2,500円

保育園状況 (2023年4月1日)

施設数	4箇所	措置数	49.88%
定員	431人	職員数	27人
実員	213人		{ 保育士 21人 調理員 6人 }
事業費	2億6,930万8,831円		
	国費	61万1千円	
	都費	4,471万9千円	
	町費	2億1,040万1,281円	
	住民負担	982万3,250円	
	その他	375万4,300円	

生活保護扶助別実施状況 (2022年度末)

世帯数	207世帯	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計	
人員	225人	金額	1億2,152万5,913円	5,234万2,852円	2,145円	1,074万4,095円	1億4,456万2,038円	23万1,010円	170万9,060円	0円	3億3,111万7,113円

※東京都八丈支庁調べ

障害者手帳交付状況

(2023年3月31日)

障害区分	人数
視覚	26人
聴覚	11人
肢体	146人
平衡	1人
言語	5人
そしゃく	1人
内部障害	108人
計	298人

※障害の重複あり

愛の手帳交付状況

(2023年3月31日)

年齢	人数
18歳未満	19人
18歳以上	53人
計	72人

精神障害者保健福祉手帳交付状況

(2023年3月31日)

交付数	76人
-----	-----

老人クラブの状況

(2023年4月1日)

クラブ数	18クラブ
会員数	780人
クラブ助成金額	474万3,300円

国民年金加入状況

(2023年3月31日)

種別	人数
第1号被保険者数	897人
第3号被保険者数	297人
任意加入被保険者数	16人
計	1,210人

国保保険給付費支払状況

(2022年度)

種別	金額
高額療養費	7,873万8,041円
退職被保険者分	0円

種別	件数	金額
出産育児給付	5件	208万8千円
葬祭費	16件	80万円

後期高齢者医療被保険者証交付状況

(2023年4月1日)

被保険者数	1,435人
-------	--------

国民年金受給権者数

(2023年3月31日)

種別	人数
老齢基礎年金	2,501人
老齢年金	99人
通算老齢年金	13人
障害基礎年金	130人
遺族基礎年金	7人
障害年金(旧)	3人
寡婦年金	1人
福祉年金	0人
特別障害給付金	0人

国保加入者数と平均保険税額

(2023年4月1日)

加入者数		平均保険税収額(医療分)	
世帯数	被保険者数		
1,583世帯	2,260人	9万5,775円/世帯	6万6,549円/人

医療 MEDICAL

町立八丈病院のべ患者数

(2022年度)

区分	一般診療							
	計	内科	外科	産婦人科	小児科	リハビリ	透析	その他
入院	1万57人	8,172人	1,721人	116人	48人			
外来	3万2,934人	1万5,687人	5,809人	1,133人	3,463人	4,231人	2,611人	0人

区分	臨時診療												
	計	耳鼻咽喉科	精神神経科	整形外科	甲状腺内科	皮膚科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器内科	神経内科	眼科	泌尿器科	循環器内科
外来	1万1,532人	1,311人	2,216人	1,510人	300人	1,263人	1,317人	338人	259人	134人	2,477人	381人	26人

後期高齢者医療給付の状況

(2022年度)

区分	受診件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	
療養の給付等	入院	1,008件	5億3,318万7,600円	9億5,865万7,193円	8,647万3,797円
	入院外	1万1,285件	2億3,941万8,400円		
	歯科	4,135件	4,503万840円		
	調剤	9,266件	2億11万8,540円		
	食事療養	933件	2,434万8,800円		
訪問看護	39件	302万6,810円	527万4,528円	62万1,632円	
療養費等	462件	589万6,160円			
計	2万6,195件	10億5,102万7,150円	9億6,393万1,721円	8,709万5,429円	

※受診件数の計に食事療養の件数は含まない

国保医療給付の状況(一般被保険者分)

(2022年度)

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等	入院	456件	5,757日	2億5,086万7,620円	5億1,150万600円	1億6,605万7,669円
	入院外	1万1,777件	1万7,047日	2億4,553万3,870円		
	歯科	5,987件	8,074日	5,699万3,380円		
	調剤	8,841件	1万586枚	1億2,925万4,570円		
	食事療養	415件	1万4,594回	959万9,867円		
訪問看護	31件	117日	133万9,290円	343万8,083円	130万1,508円	
療養費等	601件		473万9,591円			
計	2万7,693件	3万995日	6億9,832万8,188円	5億1,493万8,683円	1億6,735万9,177円	1,603万328円

※受診件数の計に食事療養の件数は含まない

※受診日数の計に調剤の枚数及び食事療養の日数は含まない

■小・中学校の状況

(2023年5月1日)

校種	校数	児童・生徒数	学級数	教員数
小学校	3校	328人	20学級	41人
中学校	3校	144人	11学級	48人

■学校施設の現況

(2023年5月1日)

学校名	構造	面積	教室数		校地面積	内 運動場	付属建物
			普通	特別			
三根小学校	RC3階建	3,980㎡	8教室	13教室	16,048㎡	9,102㎡ (芝生5,900㎡含む)	体育館RC= 1,088㎡ 倉庫S= 22㎡
大賀郷小学校	RC3階建	2,645㎡	6教室	11教室	11,351㎡	5,798㎡ (芝生2,771㎡含む)	体育館RC= 790㎡ 倉庫CB= 20㎡ 倉庫S= 22㎡ 地域・学校連携施設RC= 148㎡
三原小学校	RC2階建	2,179㎡	6教室	10教室	5,975㎡	2,436㎡ (芝生2,436㎡含む)	体育館RC= 695㎡ 倉庫S= 22㎡
富士中学校	RC2階建 CB	2,220㎡ 6㎡	3教室	13教室	23,852㎡	17,378㎡ (芝生848㎡含む)	体育館RC= 743㎡ 倉庫CB= 40㎡ 倉庫S= 9㎡
大賀郷中学校	RC2階建 RC平屋	2,008㎡ 63㎡	5教室	8教室	16,742㎡	6,800㎡ (芝生1,715㎡含む)	体育館RC= 848㎡ 倉庫CB= 60㎡ 倉庫S= 13㎡ 地域・学校連携施設RC= 150㎡
三原中学校	RC2階建	2,239㎡	3教室	10教室	14,874㎡	8,739㎡ (芝生2,731㎡含む)	体育館RC= 800㎡ 倉庫S= 116㎡

※RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨

■高等学校の状況

(2023年5月1日)

生徒数	全日制	132人
	定時制	16人
教員・職員数	52人	

2022年度卒業生

卒業後の進路	全日制	定時制	割合
大学短大進学者	22人	1人	40%
専門学校等	16人	2人	29%
就職進学	0人	0人	0%
就職	9人	1人	16%
その他	8人	3人	15%
計	55人	7人	100%

※東京都立八丈高等学校調べ

■共同調理場方式完全給食

(2022年度、2023年度)

年度	給食数(1日あたり)	給食予定日数	給食費用単価(1食あたり)				平均月額給食費(2022年度11ヶ月)			
			小学校			中学校	小学校			中学校
			低学年	中学年	高学年		低学年	中学年	高学年	
2022	616食	190日 (うち米飯週3回)	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円	4,050円	4,621円	4,885円	5,583円
2023	614食	192日 (うち米飯週3.5回)	236.98円	269.16円	289.92円	331.56円	4,104円	4,669円	4,933円	5,606円

■学校給食の状況

(2023年5月1日)

校種・校数	児童・生徒数	教職員等人数
小学校(3校)	328人	43人
中学校(3校)	143人	56人
給食人員計	570人	

■英会話教室

(2022年度)

クラス数	19クラス
受講者数	87人

■婦人会の状況

(2023年4月1日)

	三根	大賀郷	樫立	中之郷	末吉	計
会員数	223人	59人	35人	45人	30人	392人

※八丈島連合婦人会調べ

■図書館利用状況

(2022年度)

開館日数	278日	
利用者数	一般	9,141人
	児童	6,765人
		2,376人
平均利用者数	33人/日	
蔵書数	38,982冊	
視聴覚ライブラリー	ビデオ保有数	30巻
	DVD保有数	1180枚

■指定文化財等件数

(2023年4月1日)

区分	件数(件)					
	国指定分	国登録分	国選択分	都指定分	町指定分	総数
天然記念物	1	0	0	0	7	8
有形文化財	0	2	0	18	39	59
無形文化財	0	0	2	0	0	2
無形民俗文化財	0	0	1	3	0	4
史跡・旧跡	0	0	0	6	2	8
計	1	2	3	27	48	81

地域を定めないう指定されている、管内に存在する国天然記念物

アカッコ
カラスバト
イジマムシクイ
カンムリウミスズメ
オカヤドカリ

■公民館施設状況(2023年4月1日)

公民館名	完成年度	面積 (㎡)					計
		集会室	厨房	図書会議室	和室	その他	
三根	2018年度	272	63	35	73	575	1,018
大賀郷	1984年度	253	60	30	75	328	746
檜立	1975年度	198	22	22	99	249	590
中之郷	1973年度	201	24	24	94	221	564
末吉	1978年度	242	26	20	97	229	614

■体育施設状況(2023年4月1日)

施設名	完成年度	面積	構造	概要
富士グラウンド(富士野球場)	1988年度	12,521㎡	内野:混合土 外野:ロングパイル人工芝 外周:砂	両翼:98m 中堅:120m 外野部分:人工芝サッカーコートとして利用可 少年サッカーコート1面 フットサルコート3面
富士ゲートボール場	1990年度	4,483㎡	透水型砂入り人工芝	コート:3面 休憩所:平屋鉄筋コンクリート造、49.5㎡
八丈町 コミュニティセンター	ボウリング場	1971年度		2004年度に都から町へ移管 レーン:4本
	体育館	1971年度	砂入り人工芝	2004年度に都から町へ移管 コート:425㎡
	テニスコート	1995年度	砂入り人工芝	2004年度に都から町へ移管 コート:2面
檜立屋内運動場	1991年度	650㎡	体育館	2006年度末の檜立小学校廃校に伴い2007年度所管替 鉄筋コンクリート
檜立運動場		4,450㎡	クレー	2006年度末の檜立小学校廃校に伴い2007年度所管替
中之郷屋内運動場	1987年度	650㎡	体育館	2012年度末の中之郷小学校廃校に伴い2007年度所管替 鉄筋コンクリート
中之郷運動場		5,557㎡	クレー	2012年度末の中之郷小学校廃校に伴い2013年度所管替
末吉屋内運動場	1992年度	650㎡	体育館	2012年度末の末吉小学校廃校に伴い2013年度所管替 鉄筋コンクリート
末吉運動場		4,425㎡	クレー	2012年度末の末吉小学校廃校に伴い2013年度所管替
南原 スポーツ公園	サッカー場	2006年度	天然芝(野芝)	サッカーコート2面:ピッチ寸法105m×68m 管理棟:平屋鉄筋コンクリート造、315.90㎡
	野球場	2011年度	内野:人工芝 外野:人工芝	両翼:92m 中堅:116m 付帯施設:ジョギングコース、芝生広場、壁打ち練習板

※南原スポーツ公園は条例上は町立公園に該当するが、用途を考慮し、その設備を本項目に記載する

■スポーツ・文化活動の状況(2022年度)

スポーツ

種目	人数	活動状況
野球	一般・児童 220人	島内大会(一般、OB、少年学童)等開催 その他、通常活動
バレーボール	一般・児童 162人	島内大会(一般、少年学童)等開催 その他、通常活動
サッカー	一般・児童 236人	島外チームとの交流大会、ジュニア大会等開催 その他、通常活動
バスケットボール	一般・児童 95人	島内交流戦等実施 その他、通常活動
卓球	一般・児童 127人	島内大会(一般、シニア、少年学童)等開催 その他、通常活動
武道	柔道	一般・児童 30人 (昇級審査会)その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会自粛、通常活動
	剣道	一般・児童 32人
テニス(硬式)	一般 27人	各種大会開催
ゲートボール	一般 87人	
ゴルフ	一般 20人	
町民体育大会		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

文化活動

事業名	活動状況
團伊玖磨記念コンサート	第52回 八丈島團伊玖磨メモリアルコンサート 出演者:加藤 洋朗(コーディネーター)、樋口 達哉(テノール)、古野 七央佳(ピアノ)、パシフィックディーヴァス(女声アンサンブル)、大賀郷中学校音楽部(特別出演)
八丈島文化協会事業	八丈島島民大学講座 1日目「日本列島で発生する巨大地震と火山噴火-伊豆諸島周辺ではどのように想定されているか」 2日目「防災市民ボランティア論-東日本大震災以降の東京都災害ボランティアセンターの取り組みを踏まえて」
	子ども文化体験 舞台観賞事業「TAP Do! スペシャルパーティータイム」 あそび体験事業「はぐらびんabinoみ 垂土編 クリスマスリースを作ろう!」 映画鑑賞事業「漁協の肉子ちゃん」、「コーダ あいのうた」
	八丈島文化フェスティバル 島内文化団体による舞台公演及び作品展示
	八丈島伝統文化継承 八丈太鼓や地域の踊りなどを子どもたちに継承するための取り組み 「八丈島芸能文化祭」
	八丈島JAZZフェスティバル プロとの共演を通して、子どもたちの豊かな心を養うを目的としたイベント プロステージとアマチュアステージを開催予定だったが、感染症対策のため規模を縮小し、アマチュアステージにゲストを呼ぶかたちで実施
八丈島小島自然体験 子どもたちの小島への渡航体験。歴史、文化、自然体験活動を実施	
婦人学級	教室…料理、生け花、寄せ植え、ゲートボール、卓球、絵手紙、踊り

■八丈島歴史民俗資料館(2022年度)

開館	2018年6月9日	展示品				計
		考古関係	民俗関係	歴史関係	その他	
入館者数	5,857人	約 110点	約 50点	5点	2点	約 167点

■八丈島地熱館(2022年度)

開館	2013年8月31日
入館者数	—

※2021年2月1日から地熱発電所新設工事のため休館中

環境衛生施設数 (2023年4月1日)

区分	許可等件数 (件)
理容所	9
美容所	16
クリーニング所	4
コインオペレーションクリーニング施設	2
公衆浴場	7
ホテル・旅館・民宿等	85
興行場	2
プール(学校プール含む)	16
水道施設	15
小規模貯水槽水道等	32
温泉利用施設	10
墓地など	50
特定建築物	7
計	255

※東京都島しょ保健所八丈島出張所調べ

火葬・改葬 (2022年度)

火葬	128件
改葬	13件
計	141件

し尿・浄化槽汚泥収集運搬実績 (2022年度)

	運搬量	件数
し尿	4,482,910.0ℓ	1,651件
浄化槽汚泥	5,672,990.0ℓ	1,346件
計	10,155,900.0ℓ	2,997件

水道事業 (2022年度)

給水人口	6,837人	
普及率	99.7%	
水源取水能力	表流水	2,030m ³ /日
	地下水	4,230m ³ /日
	湧水	3,910m ³ /日
	計	10,170m ³ /日
有収水量	年間有収水量	1,083,639m ³
	平均有収水量	90,303m ³ /月
		2,969m ³ /日
	一人あたりの平均有収水量	422ℓ/日
給水収益	年間給水収益	2億4,376万2,249円
	平均給水収益	2,031万3,521円/月
	一人あたりの平均給水収益	2,889円/月
	給水栓数	5,884栓

ごみ処理取扱量 (2022年度)

施設	八丈町クリーンセンター 機械化バッチ燃焼式焼却炉		
処理能力	一日あたり17.00トﾝ (8時間運転×2炉)		
区分	クリーンセンター処理量		
	収集	持込	計
燃やせるごみ	1,819.66トﾝ	708.23トﾝ	2,527.89トﾝ
資源ごみ(飲料缶)	25.63トﾝ	0.59トﾝ	26.22トﾝ
空きびん	67.30トﾝ	35.41トﾝ	102.71トﾝ
発泡スチロール	1.94トﾝ	0.25トﾝ	2.19トﾝ
金属ごみ	50.34トﾝ	37.25トﾝ	87.59トﾝ
有害ごみ	3.36トﾝ	1.63トﾝ	4.99トﾝ
計	1,968.23トﾝ	783.36トﾝ	2,751.59トﾝ

その他のごみ		
資源ごみ	ダンボール	413.62トﾝ
	新聞紙・雑誌・雑紙	128.15トﾝ
	古着	6.21トﾝ
	ペットボトル	31.09トﾝ
島外搬出ごみ	不燃性粗大	163.63トﾝ
	廃自動車	526台
	リサイクル家電	1,832台

家庭用生ゴミ堆肥化容器 (コンポスト)貸与実績 (2022年度)

容量	件数
130ℓ	36件
230ℓ	97件
計	133件

合併処理浄化槽の状況 (2022年度)

汚水処理人口	3,005人
普及率	43.8%

※%は、少数第2位を四捨五入

水道料金 (2023年10月1日)

口径	装置料金	水道料金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13mm	760円	1~10m ³	11~20m ³	21~50m ³	51m ³ 以上
		120円/m ³	150円/m ³	240円/m ³	290円/m ³
20mm	900円	1~20m ³	21~50m ³	51~100m ³	101m ³ 以上
		180円/m ³	270円/m ³	340円/m ³	390円/m ³
25mm	1,150円	1~20m ³	21~50m ³	51~100m ³	101m ³ 以上
		180円/m ³	270円/m ³	340円/m ³	390円/m ³
30mm	1,930円	1~50m ³	51~100m ³	101~500m ³	501m ³ 以上
		320円/m ³	375円/m ³	420円/m ³	470円/m ³
40mm	2,070円	1~50m ³	51~100m ³	101~500m ³	501m ³ 以上
		320円/m ³	375円/m ³	420円/m ³	470円/m ³
50mm	4,590円	1~100m ³	101~500m ³	501~1,000m ³	1,001m ³ 以上
		380円/m ³	430円/m ³	480円/m ³	530円/m ³
75mm	5,700円	1~100m ³	101~500m ³	501~1,000m ³	1,001m ³ 以上
臨時用(工事等)	6,000円	530円/m ³			

※令和5年10月1日に料金改定

■町営バス運行実績 (2022年度)

	走行距離		輸送人員		収入金額	
一般乗合	139,728.2km	72.8%	9万5,009人	78.7%	1,380万6,016円	15.9%
貸切	52,195.4km	27.2%	2万5,778人	21.3%	7,300万1,063円	84.1%
計	191,923.6km	100.0%	12万787人	100.0%	8,680万7,079円	100.0%

■航空貨物取り扱い高

(2022年1月～12月)

移出	454ト	移入	172ト
----	------	----	------

※東京都八丈支庁調べ

■タクシー台数 (2023年11月1日)

区分	業者数	台数
1台で営業している業者	2業者	2台
2台以上で営業している業者	3業者	13台
計	5業者	15台
内 ジャンボタクシー使用業者	3業者	3台
内 福祉タクシー使用業者	0業者	0台

※八丈島乗用旅客自動車協会調べ

■町営バス台数 (2023年度)

種類	乗車定員	台数
乗合	中型車 59人乗り	2台
	小型車 58人乗り	1台
貸切	小型車 31人乗り	1台
	大型車 52人乗り	1台
	大型車 49人乗り	2台
	中型車 36人乗り	1台
	中型車 35人乗り	3台
計		11台
路線数 (系統数)		3路線5系統

■トラック台数 (2023年4月1日)

総業者数	9業者
トラック台数 (1ト車以上)	70台

※(株)東京都トラック協会八丈島支部調べ

■テレビ放送 (2023年12月1日)

名称	開局日
東京都八丈中継局	2009年3月3日
東京都八丈末吉中継局	2010年11月1日
東京都八丈洞輪沢中継局	2009年3月5日

※デジタル中継局開局情報 (総務省) を基に八丈町が作成

■観光バス貸切(ガイド付)料金 (2023年度)

区分	大型車 (34名以上)	中型車 (21～33名)	中型車 (割引) (1～20名)
1周コース	10万3,840円	9万2,400円	8万1,900円
半周コース	6万6,880円	5万9,400円	5万1,480円
送迎	2万7,984円	2万4,200円	-

■八丈島内郵便局の状況 (2023年12月1日)

区分	名称	集配
直営	八丈島郵便局	
	三根郵便局	○
	八丈島樫立郵便局	
	中ノ郷郵便局	○
	末吉郵便局	

■電力の状況 (2022年度)

認可出力	内 燃力発電	15,100kw
	地 熱 発 電	2019年3月29日廃止
日最大電力	最大電力	9,100kw
	発 生 月 日	2022年8月26日

※東京電力パワーグリッド(株)東京総支社島嶼業務センター八丈島事務所調べ

■海上貨物取り扱い高

(2022年1月～12月)

分類	移出(ト)	移入(ト)		
農水産品	米・雑穀・豆	0	159	
	野菜・果物	10	1,782	
	その他農産品	2,580	54	
	畜産品	89	3,488	
	水産品	1,585	3,500	
林産品	林産物	2,192	3,330	
鉱産品	砂利・砂	0	23,337	
	車両	2,522	6,010	
金属機械工業	非鉄金属	0	0	
	金属製品	1,099	7,510	
	その他機械・部品	4	0	
化学工業品	セメント	0	4,393	
	その他窯業品	77	1,179	
	LPG・LNG	0	2,677	
	重油	757	11,202	
	石油製品	977	5,420	
	化学肥料	0	0	
	その他化学工業品	0	0	
	軽工業品	飲料	186	1,706
		製造食品	89	108
		その他・食料工業品	0	1
雑工業品	日用品	2,039	2,818	
	その他製造工業品	0	0	
特殊品	金属くず	0	16	
	動植物性製造飼肥料	2	774	
	廃棄物	1,248	187	
	廃土砂	1,083	16	
	輸送用容器	6,107	5,744	
	再利用資材	541	136	
	取り合わせ品	2,931	15,229	
分類不能のもの	34	1,436		
計	26,152	102,212		

※港湾調査 (国土交通省) を基に八丈町が作成
※移出入いずれか1ト以上の実績があるもののみ記載

■自動車台数 (2023年3月31日)

車種	台数	管轄・備考
普通自動車	722台	自動車検査登録情報協会
小型自動車	1,600台	
内 三輪以上	1,517台	自動車検査登録情報協会
内 二輪 (小型二輪)	83台	自動車検査登録情報協会
軽自動車	4,663台	
内 三輪以上	4,551台	八丈町
内 二輪 (軽二輪)	112台	八丈町
大型特殊自動車	159台	自動車検査登録情報協会
小型特殊自動車	120台	八丈町
原動機付自転車	571台	八丈町
計	7,835台	
平均保有台数	1.12台/人	1.88台/世帯

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■八丈町都市計画区域

1972年2月22日付東京都知事に申請
1973年1月5日 全域を都市計画区域（区域区分非設定）に指定

■都道と町道 (2023年4月1日)

	都 道	町 道
延長	59,330m	428,626m
面積	725,478㎡	1,483,909㎡
舗装率	100.00%	42.11%

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■公園と児童遊園地 (2023年4月1日)

施設名	管理者	面積	備考
東京都立八丈植物公園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
底土園地	東京都	987㎡	散歩、休息、遊戯
底土野営場	東京都	13,145㎡	野営、炊事、休息
南原園地	東京都	8,600㎡	散歩、休息
大湯浦園地	東京都	12,232㎡	散歩、休息、遊戯
登龍園地	東京都	1,851㎡	散歩、休息
大賀郷園地	東京都	129,796㎡	散歩、休息、遊戯
護神山公園（護神山緑地）	八丈町	12,438㎡	都市計画緑地、散歩、休息
底土海浜公園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
八丈プラザ公園	八丈町	26,016㎡	都市計画公園、野営、炊事、散歩、休息
南原スポーツ公園	八丈町	59,797㎡	都市公園、サッカー場、野球場
神湊児童遊園地	八丈町	1,447㎡	散歩、休息、遊戯
稲葉児童遊園地	八丈町	2,128㎡	散歩、休息、遊戯
八重根児童遊園地	八丈町	882㎡	散歩、休息、遊戯
大里児童遊園地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
榎立児童遊園地	八丈町	1,484㎡	散歩、休息、遊戯

※東京都八丈支庁及び八丈町調べ

■港湾施設 (2023年4月1日)

種類	港名	管理者	設立年月日	対象船舶	港湾施設	備考
地方港湾	神湊港（底土港）	東京都	1953年3月31日 火曜日	小型船 500トﾝ～5,000トﾝ	岸壁 (-6.0～7.5m) 310m 船客待合所 一棟 輸送管設備 一式 夜間荷役照明 一式 船揚場 1,320㎡ 荷捌用地 11,270㎡	神湊港（底土）船客待合所 2014年7月1日供用開始
	八重根港	東京都	1953年3月31日 火曜日	500トﾝ～5,000トﾝ	岸壁 (-6.0～7.5m) 230m 船客待合所 一棟 輸送管設備 - 夜間荷役照明 - 船揚場 - 荷捌用地 1,399㎡	八重根港船客待合所 2012年2月1日供用開始
避難港	洞輪沢港					1954年7月2日指定

※東京都八丈支庁調べ

■都市計画道路 (2023年4月1日)

八丈都市計画道路3・4・1号 底土・空港・八重根線		
延長	約	7,352m
幅員		18m
交通広場	底土	約 6,600㎡
	八重根	約 5,200㎡
都市計画決定日		1979年3月29日
延伸決定日		1989年3月20日

区間	事業認可	認可区間	完成年度
第1期	1980年1月16日	空港～倉の坂交差点 2,062m	1986年度
第2期	1986年6月19日	倉の坂交差点～底土交通広場 1,690m	1999年度
第3期	1989年10月25日	八重根交通広場～西見交差点 1,960m	2003年度
第4期	1995年3月1日	西見交差点～空港 1,640m	2011年度

※東京都八丈支庁調べ

■八丈島空港の施設状況 (2023年4月1日)

種 別	地方管理空港	
供用開始日	1962年5月1日 火曜日	
政令指定日	1958年12月25日 木曜日	
空港の位置	北緯	33° 06'51"
	東経	139° 47'00"
	標高	89.3m
飛行場用地 (場内道路含む)	総面積	763,241㎡
	国有地	336,087.69㎡
	都 有 地	427,153.31㎡
対象機種	エアバス320-271N	
	ボーイング737-800	

基本施設	滑走路	着陸帯	誘導路	エプロン
	延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24トﾝ (舗装厚 30cm)	延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ 3バース
	ターミナルビル	飛行場灯火		
3階建 延床面積 3,975.44㎡	飛行場灯台、簡易式進入灯、進入角指示灯、進入路指示灯、滑走路灯、滑走路末端灯、滑走路末端識別灯、滑走路中心線灯、過走帯灯、誘導路灯、誘導路中心線灯、風向灯、エプロン灯			

※東京都八丈支庁調べ

■町営住宅の現況 (2023年3月31日)

地域	団地名	構造	戸数(戸)			計
			1K,1DK,1LDK	2K,2DK,2LDK	3K,3DK,3LDK	
三根	群ヶ平第2団地	耐火	0	0	16	16
	中道団地	簡耐・耐火	13	36	15	64
	富士見団地	耐火	5	10	8	23
	神湊第1団地	耐火	24	0	0	24
	神湊第3団地	耐火	11	6	6	23
	桜平団地	耐火	13	8	8	29
	新道団地	耐火	2	8	2	12
	丘里団地	耐火	0	12	4	16
小計	8団地		68	80	59	207
大賀郷	原山団地	耐火	0	6	6	12
	八蔵団地	耐火	6	0	48	54
	寺山団地	耐火	11	7	20	38
	八重根団地	耐火	12	0	0	12
小計	4団地		29	13	74	116
榎立	湯浜団地	簡耐	0	0	8	8
	康政里住宅	木造	0	0	2	2
	東六里住宅	木造	0	0	6	6
	康政里第2住宅	木造	0	0	6	6
	江能里住宅	木造	0	0	3	3
	小計	5団地		0	0	25
中之郷	上浦団地	簡耐	0	0	8	8
	中之郷団地	耐火	5	2	8	15
	粥倉住宅	木造	0	0	2	2
	粥倉第2住宅	木造	0	0	2	2
	藍ヶ里住宅	木造	0	0	4	4
	尾越住宅	木造	0	0	2	2
	尾越第2住宅	木造	0	0	4	4
	中里住宅	木造	0	0	2	2
	三原住宅	木造	0	0	4	4
	三原第2住宅	木造	0	0	1	1
	藍ヶ江住宅	木造	0	0	2	2
	上浦住宅	木造	0	0	2	2
小計	12団地		5	2	41	48
末吉	末吉団地	耐火	2	2	4	8
	瀬戸団地	耐火	8	2	5	15
	神子尾住宅	木造	0	0	2	2
	道ヶ沢住宅	木造	0	0	2	2
	名古屋住宅	木造	0	0	2	2
小計	5団地		10	4	15	29
合計	34団地		112	99	214	425

■警察署の概要 (2023年4月1日)

区分	設置数	職員数
本署	1ヶ所	32人
駐在所	7ヶ所	7人

※警視庁八丈島警察署調べ

■少年事案取り扱い件数(刑法犯のみ) (2022年1月~12月)

罪種	件数
粗暴犯	0件
窃盗	1件
その他 特別法犯	0件
計	1件

※警視庁八丈島警察署調べ

■犯罪件数 (2022年1月~12月)

罪種	件数
凶悪犯	1件
粗暴犯	5件
窃盗犯	5件
知能犯	0件
その他	3件
計	14件

※警視庁八丈島警察署調べ

■民有家屋などの棟数 (2023年1月1日)

区分	木造	木造以外	総数	
個人	棟数	3,934棟	1,065棟	4,999棟
	平均床面積	82.4㎡	106.3㎡	87.5㎡
法人	棟数	266棟	391棟	657棟
	平均床面積	90.1㎡	271.4㎡	198.0㎡
合計	棟数	4,200棟	1,456棟	5,656棟
	平均床面積	82.9㎡	150.7㎡	100.3㎡

※固定資産課税台帳調べ

■消防団などの状況 (2023年4月1日)

区分	人数(人)								総数
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	
本部	1	2	0	0	1	1	13	0	18
三根	0	0	1	1	7	11	18	11	49
大賀郷	0	0	1	1	6	19	19	11	57
榎立	0	0	1	1	4	9	4	10	29
中之郷	0	0	1	1	6	11	6	12	37
末吉	0	0	1	1	4	7	1	8	22
計	1	2	5	5	28	58	61	52	212

消防本部

職員 27人

■消防施設など (2023年4月1日)

区分	施設数(箇所)					総数	
	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉		
防火水槽	40㎡以上	77	68	20	22	20	207
	40㎡未満	2	5	0	1	1	9
消火栓	3	0	0	1	0	4	
詰所	1	1	1	1	1	5	
分所	0	0	0	0	0	0	
器具置場	1	0	0	0	1	2	

■消防車両の状況 (2023年4月1日)

種類	台数
消防ポンプ自動車	7台
指揮車	2台
照明電源車	2台
救急車	2台
可搬ポンプ	6台
計	19台

■原因別救急出動件数 (2022年度)

事故種別	件数
火災事故	0件
自然災害	0件
水難	3件
交通事故	16件
労働災害	13件
運動競技	0件
一般負傷	96件
加害	2件
自損行為	4件
急病	393件
転院搬送	57件
その他	3件
計	587件

■交通事故件数 (2022年1月~12月)

件数	139件
内 飲酒が原因のもの	0件

※警視庁八丈島警察署調べ

■一般会計決算(純計) (2022年度)

決算収支の状況	歳入総額(A)	92億1,478万3千円
	歳出総額(B)	89億9,529万5千円
	歳入歳出差引額(C)	2億1,948万8千円
	翌年度へ繰越すべき財源(D)	1億3,278万6千円
	実質収支(C-D)(E)	8,670万2千円
	単年度収支(F)	-6,791万円
	積立金(G)	0円
	繰上償還額(H)	0円
	積立金取崩額(I)	0円
	実質単年度収支(F+G+H-I)	-6,791万円
指数等	基準財政需要額	36億1,322万4千円
	基準財政収入額	9億6,965万4千円
	標準財政規模	39億39万6千円
	財政力指数	0.273
	単年度	0.268
経常収支比率	84.8%	

■特別会計決算(2022年度)

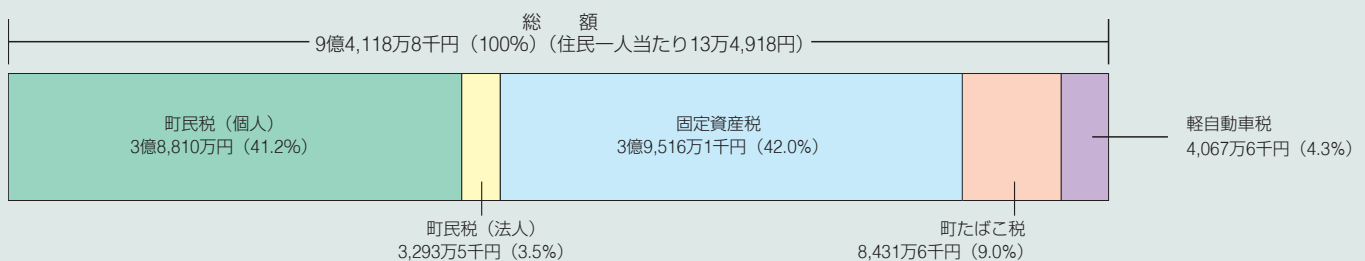
会計別	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差引額(A-B)
介護保険	11億1,220万4千円	10億6,266万5千円	4,953万9千円
国民健康保険	10億7,780万7千円	10億3,919万2千円	3,861万5千円
後期高齢者医療	2億4,606万9千円	2億4,601万2千円	5万7千円

■企業会計決算(2022年度)

会計別	総収益(A)	総費用(B)	当年度純利益(損失)(A-B)
水道事業	4億3,746万円	4億2,453万3千円	1,292万7千円
一般旅客自動車運送事業	1億5,900万6千円	1億5,170万2千円	730万4千円
病院事業	14億776万7千円	14億5,459万円	-4,682万3千円
浄化槽設置管理事業	4,789万3千円	5,023万4千円	-234万1千円

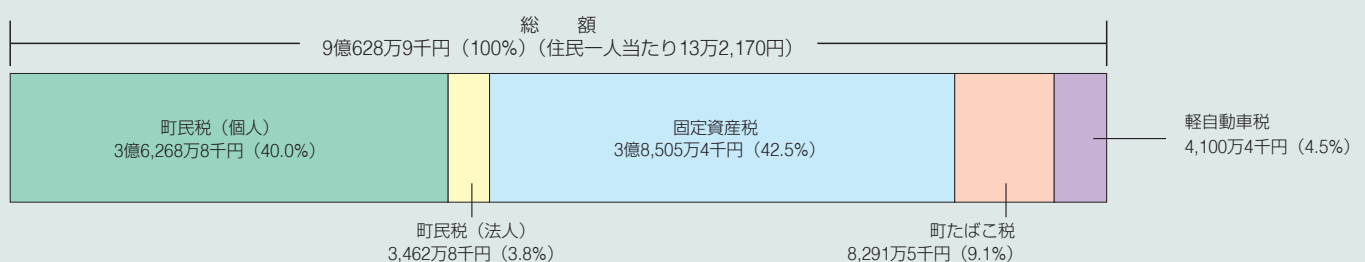
※浄化槽設置管理事業は、2021年度より、特別会計から企業会計へ移管

■税目別町税収入決算額(2022年度)



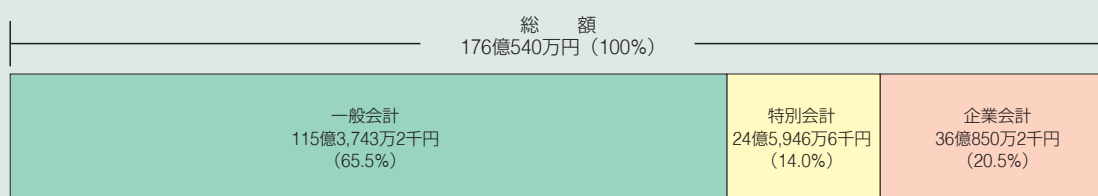
※住民一人当たりの金額は、2022年4月1日時点の人口を基に算出

■税目別町税収入予算額(2023年度)

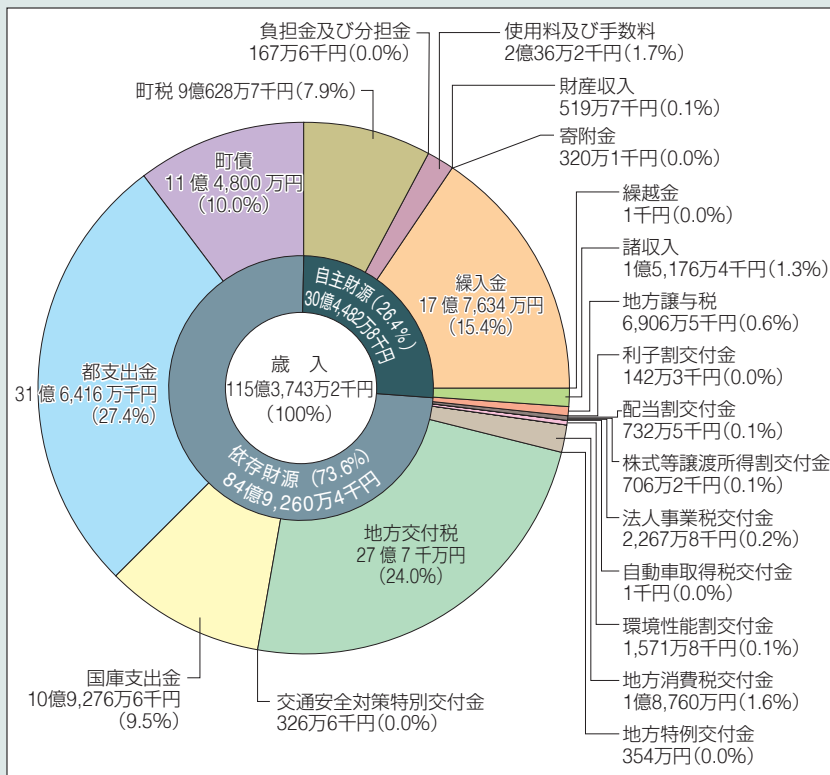


※住民一人当たりの金額は、2023年4月1日時点の人口を基に算出

■当初予算(2023年度)



■一般会計歳入予算額(当初予算) (2023年度)



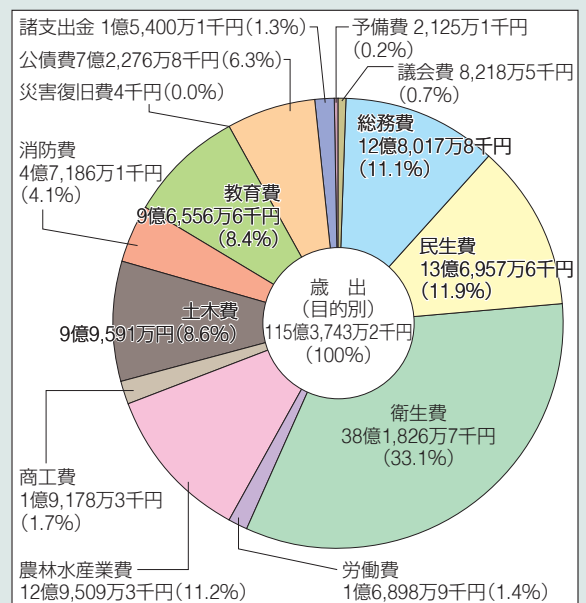
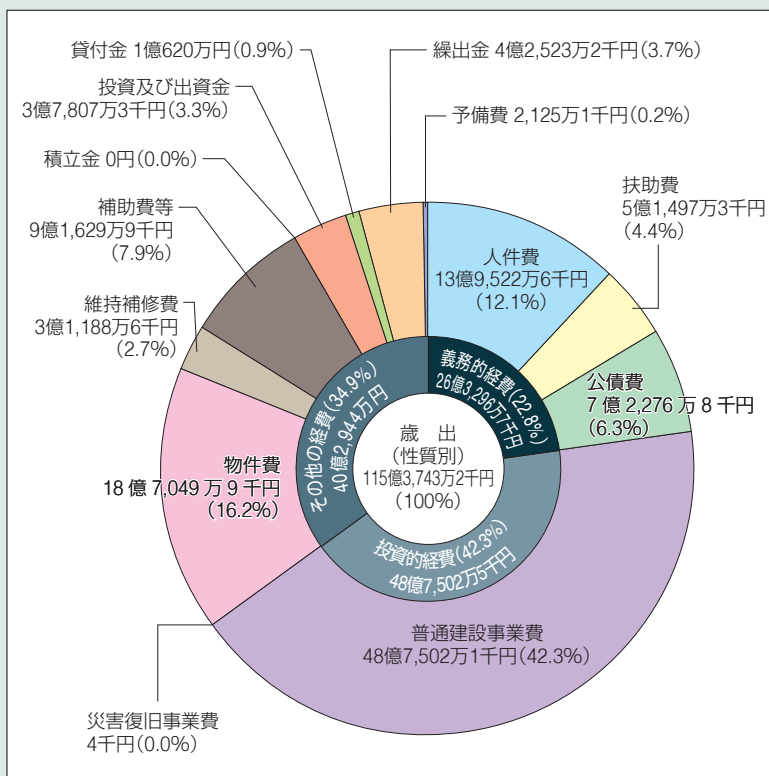
■特別会計(当初予算) (2023年度)

会計別	当初予算額
介護保険	11億467万4千円
国民健康保険	2億2,887万6千円
後期高齢者医療	11億2,591万6千円

■企業会計予算額(当初予算) (2023年度)

会計別	当初予算額
水道事業	11億8,120万3千円
一般旅客自動車運送事業	3億7,656万9千円
病院事業	19億4,503万6千円
浄化槽設置管理事業	1億569万4千円

■一般会計歳出予算額(当初予算) (2023年度)

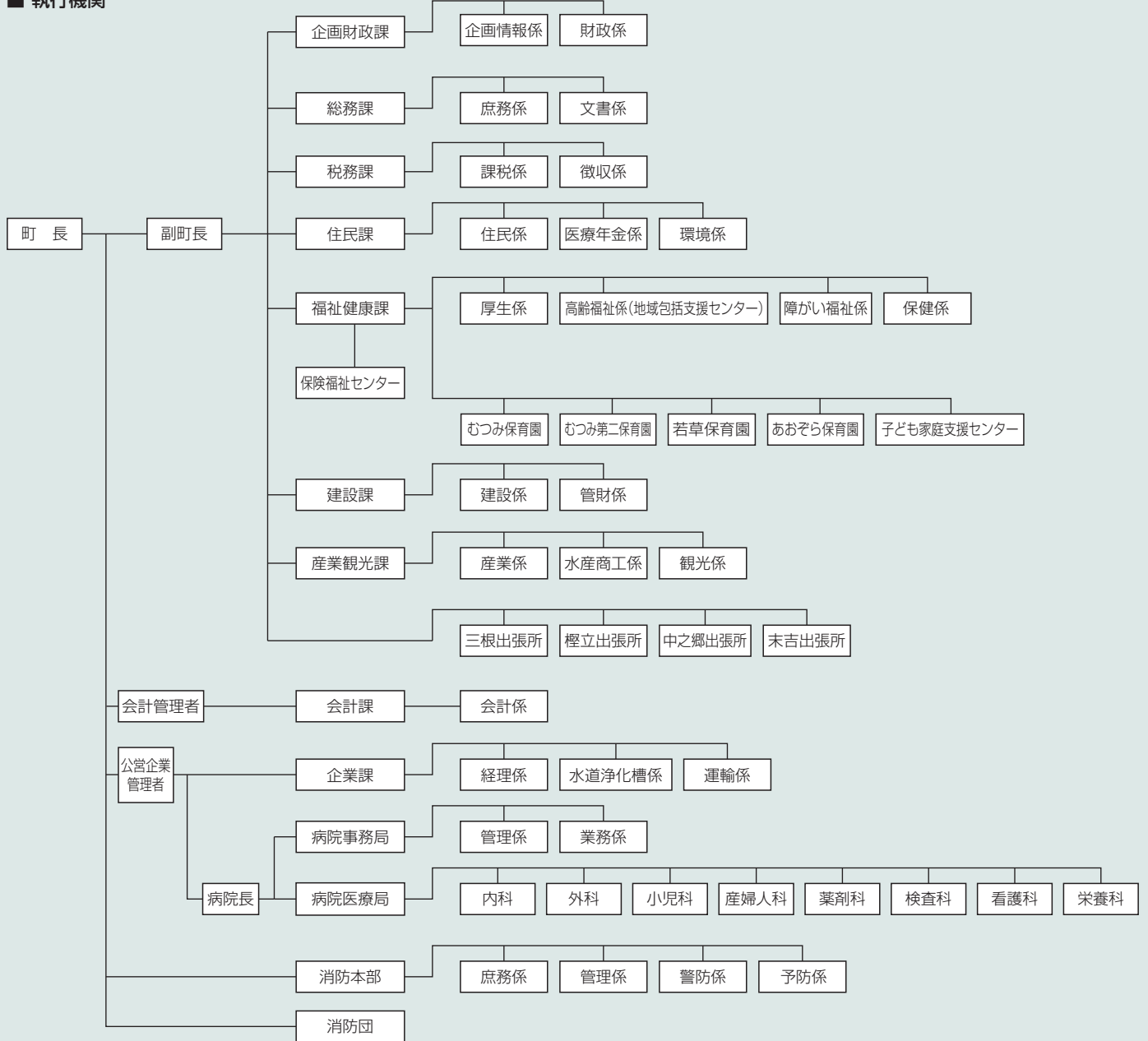


■ 八丈町機構図 (2023年 4月 1日現在)

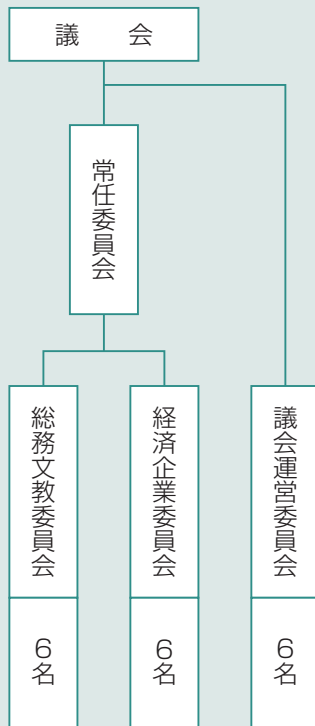
■ 議決機関



■ 執行機関



■議会構成 (2023年11月1日)



■党派別議員数 (2023年11月1日)

党派	人数
自由民主党	1人
公明党	2人
無所属	9人
計	12人

■町議会会議開催状況 (2022年1月～12月)

会議名		回数
本会議	定例会	4回
	臨時会	1回
総務文教委員会		1回
経済企業委員会		1回
議会運営委員会		6回
全員協議会		4回
総務文教委員協議会		2回
経済企業委員協議会		1回

■町長提出付議事件件数 (2022年1月～12月)

種類		件数 (件)					
		原案可決	修正可決	否決	継続審査	審議未了	撤回
地方自治法第96条第1項議決事件	条例 (第1号)	27	0	0	0	0	0
	予算 (第2号)	41	0	0	0	0	0
	決算 (第3号)	8	0	0	0	0	0
	第4号から第14号までの議案	10	0	0	0	0	0
地方自治法第96条第1項第15号及び第96条第2項を含むその他全ての議案		23	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第179条)		11	0	0	0	0	0
専決処分議案 (地方自治法第180条第2項)		1	0	0	0	0	0

町民憲章

青い海原に囲まれた緑の島山の美しい自然と、古い歴史に恵まれたわたしたちは、この八丈島に住むことを誇りとし、八丈町の限りない発展と、明るく平和な町づくりをすすめることを願い、町民ひとりひとりの道しるべとして、この町民憲章を定めます。

昭和59年10月1日施行

わたしたち八丈町民は

- 郷土を愛し、環境をととのえ、みどり豊かな町をつくりましょう。
- お年寄りを大切にし、子供たちが健やかに育つ、あたたかい町をつくりましょう。
- 伝統をととび、教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。
- はたらくことを喜び、産業の発展につくし、いきいきとした町をつくりましょう。
- きまりを守り、互いに助け合い、人情味あふれる明るい町をつくりましょう。

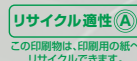


東京都八丈町勢要覧 「はちじょう2023」

令和6年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係
東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
電話 04996-2-1120 URL <https://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷：明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233 (代)



表紙写真提供：竹花紀俊